

アートバーゼル2019参加レポート

KDDI総合研究所 フューチャーデザイン2部門
シニアアナリスト 沖 賢太郎



アートバーゼルとは

スイスバーゼルにて毎年開催される世界一のアートフェア。世界の著名ギャラリーが出展し、コレクター達にアート作品を販売する場。アート業界最大のイベントの一つとなっている。

アートバーゼル2019サマリ

●オンライン取引が少しずつ増えている

メガギャラリーのNYガゴシアンやNYデイヴィッド・ツヴィルナーがアートバーゼル会期中にオンラインサービスを提供。コレクタ層の変化（若年化）等が背景として考えられる。

●ビデオ作品の展示が増えている

展示スペースを割いてのビデオアートが多数出展。アートバーゼルだけでなく、同時期に開催される他のアートイベントでもビデオ作品は増えている。

●非公開取引が増えつつある

非公開ショールームでの取引ニーズの高まり。人目を避けたいコレクターニーズ。

所感

ビデオ（デジタル）作品の増加とオンライン取引の増加が新たな潮目。デジタルなアート作品はブロックチェーンにより複製がコントロールでき来歴管理も可能。ビデオ作品を含めたメディアアートのプレゼンスが今後高まっていくことが考えられる。また、デジタルアートやオンライン取引といったデジタルな要素の普及は、一種閉鎖的であったアートの世界をマジョリティ層にも拡大させていく一助となり得る。

アートフェアとは？ アートバーゼルとは？



アートフェアとはギャラリーがブース出展し作品を展示販売するイベント

- ギャラリーは保有するトップ作品を引っさげて出展、世界中のコレクターに販売。
- 世界最大のフェアはアートバーゼル、国内最大はアートフェア東京。
- 一般的に来場者は誰でも入場可能（有料）、ただし、フェア内の重要イベントは招待されたVIPコレクターのみに限定されるものが多い。
- アート界のトップ達による情報交換、ネットワーク作りの場でもある。

アートフェアの様子（アートバーゼル2019）



アートバーゼルは世界一のアートフェア

今年で **49** 回目という歴史あるアートフェア

毎年6月（2019年は6月12-16日）、スイスバーゼルにて開催される世界一のアートフェア。初回開催は1970年、今年で49回目。

世界から約**300**のギャラリーが出展

出展審査や規約が非常に厳しいため、出展できるのは信用と実績のあるギャラリーに限られる。ギャラリーにとってアートバーゼルへの出展はステータス。

世界から約**10万人**が来場

世界中からコレクター、キュレーター、ジャーナリスト、アーティスト等が集まる。世界の富豪コレクターはプライベートジェットで集まる。

作品の価格帯は **数百万円～数十億円**

コンテンポラリーアート(現代アート)が中心だが、中にはピカソ、マティス、ミロ、ダリ等の近代作品も並ぶ。いずれも高額作品。フェアの総売上は毎年非公開。

近年はフェアに対する **批判** もあり

商業イベントとしてのカラーが強まっていることへの批判や、富裕層コレクター等を優遇する閉鎖性への批判がある。

参考：世界の主要アートフェア

スイス「アートバーゼル」

(毎年6月開催)

- ・ 世界最大規模のアートフェア。世界から応募のある1,000超のギャラリーから300を厳選。姉妹イベントがマイアミビーチ（12月）と香港（3月）でも開催
- ・ アートバーゼルには世界中から富裕層がプライベートジェットで集まる



パリ「FIAC」（国際コンテンポラリーアートフェア）

(毎年10月開催)

- ・ 世界30カ国から193のギャラリーが出展
- ・ 会場はグラン・パレ（1900年のパリ万博向けに建設された歴史的建造物）



ロンドン「フリーズアートフェア」

(毎年10月開催)

- ・ 世界160のギャラリーが出展する現代アートに特化したアートフェア
- ・ アートマガジンFriezeが主催。英ガーディアンがメインサポータ
- ・ リージェンツパーク内に大型テントを設置して開催



米NY「アーモリーショー」

(毎年3月開催)

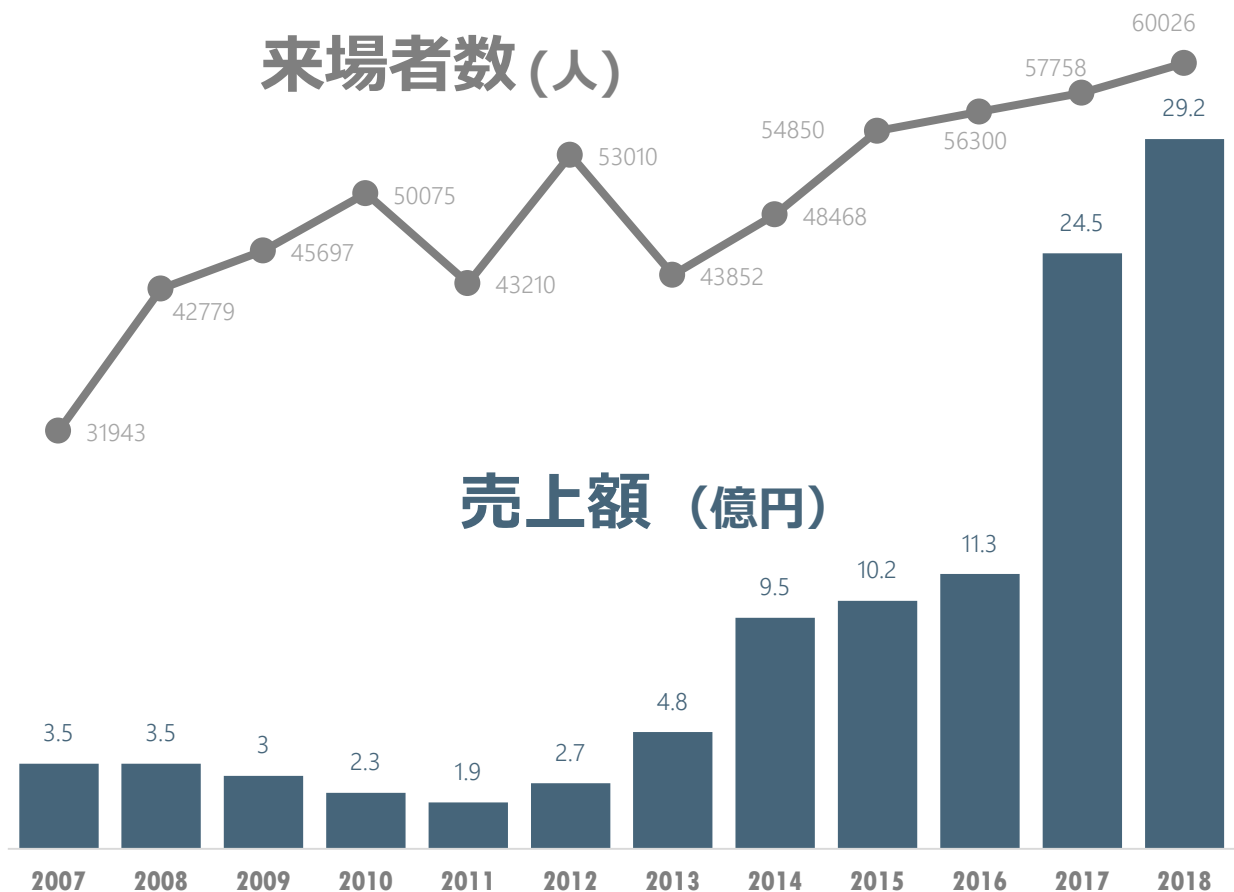
- ・ 世界200超のギャラリーが出展
- ・ MoMAやグッゲンハイムと提携したオープニングナイトやパーティを開催、会期中はNY市をあげてアートウィークとなる
- ・ 初回は1913年。会場が兵器倉庫（Armory）だったことにちなんだ名称



出所 「“お金”から見る現代アート」（小山 登美夫）等

参考：アートフェア東京の来場者数と作品の売上も増加傾向

アートフェア東京における来場者数とアート作品の売上額



2018年
来場者 **6** 万人

2018年
売上 **29.2** 億円

アートフェア東京とは

古美術・工芸から、日本画・近代美術・現代アートまで、幅広い作品のアートが展示販売されるフェアとして、2005年から開催している、日本最大級の国際的なアートフェア。

出所：一般社団法人アート東京

アートバーゼル2019のトレンド



トレンド1：オンラインを介した取引が少しずつ増えている

- メガギャラリー米デイビッド・ツヴィルナーと米ガゴシアンが会期中にアートバーゼル向けのオンラインサービスを提供。ツヴィルナーは今回が初、ガゴシアンは昨年も提供。（オンラインで問い合わせや購入申し込みができるというもの）
- ツヴィルナーのオンラインサービスでは草間彌生の作品が180万ドルで売れた（下図）。
- なおツヴィルナーは2017年より自社ギャラリーでもオンライン取引を開始。
- 背景には、買い手であるコレクター層の変化なども考えられる（起業で成功した若手富裕層などがアートを買い始めている）。

ツヴィルナーの「バーゼルオンライン」

David Zwirner

Artists Exhibitions Viewing Room Books Fairs Galleries Podcast 25 Years Search 中文



Yayoi Kusama
PUMPKIN, 2015
 Stainless steel and urethane paint
 46 1/2 x 45 3/4 x 46 3/4 inches (118.1 x 116.2 x 118.7 cm)
 \$1,800,000

Sold

Yayoi Kusama

Yayoi Kusama's (b. 1929) work transcended two of the most important art movements of the second half of the twentieth century: Pop art and Minimalism. Her highly influential career spans paintings, performances, room-size presentations, outdoor sculptural installations, literary works, films, fashion, design, and interventions within existing architectural structures, which allude at once to microscopic and macroscopic universes.

出所：David Zwirner, Art news paper（14th June 2019）など

トレンド2：ビデオ作品の展示が増えている

- 大型作品の展示エリアでは、フィルム作品やビデオインスタレーションを多数展示。
- 写真左下は著名メディアアーティストJacolby Satterwhite氏の作品。同氏の作品は、米MoMA（NY近代美術館）や仏レイヴィトン財団等、多数の著名ミュージアムでも展示されている。



写真：筆者撮影

リスト (LISTE) ※1

ビデオアートが多数出展、コレクターニーズもあり

※1 アートバーゼルと同時期にバーゼルで開催されているアートフェア

「ビデオ作品に関心を持っているコレクターはたくさんいる。ビデオ作品は（絵画や彫刻に比べて）所有コストが非常に少ないし、ミュージアムに貸し出すこともできる。」

リストに出展する英Seventeen GalleryのDavid Hoyland氏



David Hoyland氏

ベネチア・ビエンナーレ ※2

ビデオアートが金獅子賞受賞

※2 ベネチアで2年に1度開催される世界最大の芸術祭

アートバーゼルと同時期に開催中のベネチア・ビエンナーレにおいても、米国人アーティストArthur Jafa氏のビデオアートが金獅子賞を受賞。



Arthur Jafa "The White Album"

出所：Art news paper（13th June 2019）

トレンド3：作品の非公開取引ニーズが増えている

アートバーゼルの会場の一部が非公開なショールームとしてギャラリーに貸し出されており、そこにVIPを招待。ギャラリーからはこのショールームへの需要が年々高まっている。

「アートバーゼルでは、以前からギャラリー向けにこの非公開ショールームを提供しているが、年々その需要が高まっている。このショールームの料金は1,500ドル/時間程度。」

Art Basel spokeswoman

The logo for Art Basel, featuring the words "Art" and "Basel" in a white, sans-serif font, separated by a vertical line, all set against a solid black rectangular background.

「ガゴシアンギャラリーは今回、この非公開ショールームで25作品を展示。いずれも、人目を避けて売却したいという依頼人から引き受けた作品。これら作品の総額は、公開ブースにおける作品の総額と大体同じ規模。」

Andrew Fabricant, COO of Gagosian Gallery



出所：Art news paper（14th June 2019）

主要ギャラリーのブース展示の様子



米ガゴシアン Gagosian : 世界トップクラスの力を持つNYのメガギャラリー 著名作家の作品を数多く展示、ブース売上は去年の2倍に



Jean-Michel Basquiat
"Krong Thip" 1983



Damian Hirst
"Chenodeoxychlic Acid" 2009

Jeff Koons
"Sacred Heart (Magenta/Gold)" 1994-2007
価格1,450万ドル

米ガゴシアン Gagosian : 世界トップクラスの力を持つNYのメガギャラリー
村上隆の大型新作も展示



パリの名門ギャラリーペロタン（Perrotin）の
ブースにも同種類の村上作品の展示あり。



村上隆
“Untitled” 2019

村上隆
“Untitled” 2019

米デイビッド・ツヴィルナー David Zwirner : ガゴシアンに並ぶNYのメガギャラリー 独アーティストのリヒターの絵画を目玉展示



Gerhard Richter
"Versammlung (Gathering)" 1966
価格2,000万ドル

米ヴァンダウェイ Van de Weghe : 世界主要アートフェアの常連、近代～現代アートに強い バスキアやリキテンスタインの作品を展示



Jean-Michel Basquiat
"Onion Gum" 1983



(右) Roy Lichtenstein
"Figure with Banner" 1978

(左) Jean-Michel Basquiat
"Tuxedo" 1983

米ヘリー・ナーマド Helly Nahmad : アートコレクターのナーマド一族、近代アートに非常に強い
現代（バスキア等）と近代（ピカソ、ミロ）を混在展示



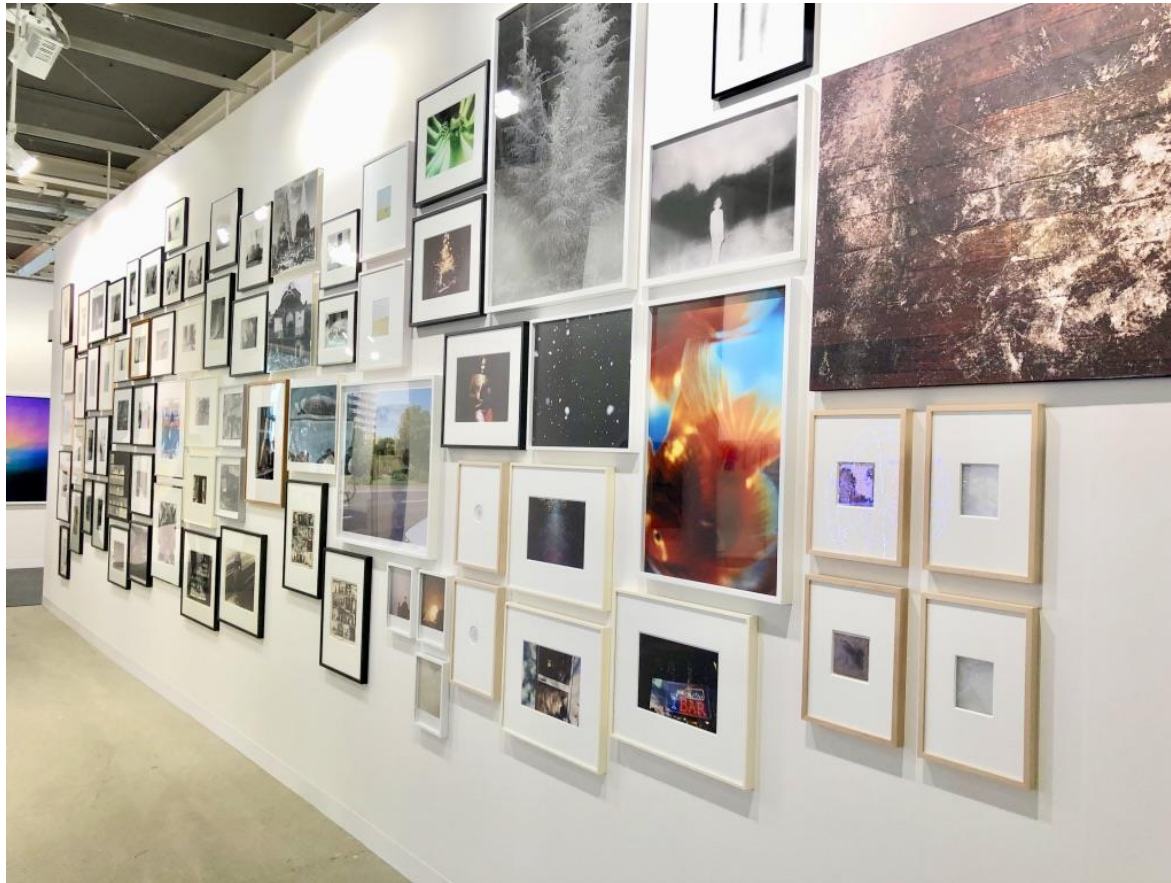
Pablo Picasso
"Femme au Chien" 1962

Joan Miro
"Le Vol de l'Oiseau Par Le Clair de Lune" 1967



Jean-Michel Basquiat
"Red Joy" 1984

タカ・イシイ Taka Ishii : 日本人写真家をメインに扱う六本木のギャラリー
バーゼルでも写真中心の展示、荒木経惟、森山大道、蜷川実花、鈴木理策など



タケ・ニナガワ Take Ninagawa : 東麻布の現代アートギャラリー 大竹伸朗の作品を中心に展示





KDDI総合研究所 フューチャーデザイン2部門
シニアアナリスト 沖 賢太郎

本レポートに関するお問い合わせは以下よりお願い致します
<https://www.kddi-research.jp/inquiry.html>